

令和2年度 第2回湯沢市行財政改革推進計画策定委員会 議事録

1. 日 時 令和3年1月8日(金) 10:00~11:30
2. 会 場 湯沢市役所本庁舎4階 会議室44
3. 出席委員 【出席6名】
(敬称略) 佐貫友洋(委員長)、高嶋江美子(副委員長)、京野楽弥子、高橋みどり、藤原敦志、小松和利
4. 議 事 (1)経営戦略(素案)について
(2)その他

■議事での発言要旨

	(1)経営戦略(素案)について ・ 基本方針3「行政経営マネジメント」 ・ 基本方針4「リスクマネジメント」
委員長	それでは、はじめに基本方針3「行政経営マネジメント」について、御意見や御質問を伺います。
〇〇委員	市債残高や一般財源総額表を見ると湯沢市は大丈夫かなと感じる。 これからの湯沢市を担っていく働き盛りの世代の方が、きちんとした正職に就いていないのが問題で、就業支援の機会を設けていかないと大変でないかと痛感した。
市事務局	合併当初から学校建設や給食センターの建設で100億円を事業費として使っている。市庁舎の36億、駅前でも40数億という多額の経費を使っている。ただ、大規模事業は落ち着いてきており、今後は毎年6億ずつ残高を減らしていく目標としている。長期的には2040年で329億円を202億円位まで減らすよう計画的に努めていきたい。
〇〇委員	人口減少は今後も続いていくという前提の中で、現役世代を増やすための施策を入れてみてはどうか。無いものをねだるより、有るものを数えた方が現実的では。職に就けない人に職を提供することや、県外や市外から現役世代が転入し来れるようなもの、千葉県野田市では母子家庭に対する支援が手厚いため母子家庭が集まってきて定住化し、結果、人口増加に繋がっている。転入を誘導できるような魅力を作ることができないか。今回の計画案はどれも納得のいく施策だが、新しく現役世代を増やし税収を増やすために、湯沢市としても目玉を作って進めてみてはどうか。

〇〇委員

全体的に経営戦略としてはそつなくできていると思う。

ただ、経営の視点からすれば、中心となる向かうべき目標が見えない。歳出の抑制は市役所内である程度達成できるが、市民や民間と一緒に歳入を増やしていく企画や仕掛けをもっと入れてほしい。職員が仕掛けていく姿が見たいし、職員がそれを感じる経営であってほしい。

また、ここに書いていることは、今までもずっと取り組んできたが、結果的にうまくいってない取組もあるのではないかと感じる。何がダメだったのか検証し掘り下げないと、次から次へと新しい事をやっても、担当職員の異動があったりしてどうしても続かないと感じる。10個ある目標を5個に絞っても思いを貫いていくような粘っこさがあればいいと感じる。

市事務局

今回の経営戦略は行政内部の意味合いが濃いものであるが、人口減少の対策については、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」としてまとめたものがある。人口減少については、人口を増やすより、減るスピードを緩やかにするため、働く場所の確保として企業とのマッチングを積極的に推進している。千葉の例の話もあるが、移住も推進していくが、地元の学生が住み続けていけるように、地域の中高生に地元の魅力を知ってもらう施策として、例えば「ふるさと支援便」等の取組は、地元と学生のつながりを確保するのが目的である。

今回の経営戦略については今までの取組としてやってこなかった訳ではなく、例えば、行政評価については、今まで内部の職員だけで評価してきたものを、外部の専門家の視点をいれて分析してもらうなど反省を踏まえたものとなっている。

〇〇委員

P22行政経営マネジメント3番目の「多様化する市民ニーズ」は「市民のニーズ」にした方がよいのでは。

以前朝早く市役所のトイレを利用した際に便座が暖かった。民間の感覚では少しでも節約し経費を削減しようと努めるものだが、電気の節電やペーパーレスの推進など細かい配慮をすれば支出を抑えられるのではと感じる。

P28職員数の適正化についての取組の中で男女比の構成が気になる。

女性の数を将来どのくらいにするなど考慮しているのか。

駅前の複合施設については、この位の負債があって新しい施設を造っても大丈夫なのか一市民として気になる。

市事務局

ペーパーレスについては、内部的にはデータのやり取りに移行する流れになっており、国でもデジタル化としてDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進している。ペーパーレスだけでなく事務的な効率性も考えながら進めていきたい。節電に関してはその通りだと思う。

職員の男女比は試験による採用が基本であるので区別はないと思う。

駅前の複合施設については新しいものを造るというよりは、老朽化が激しい施設を管理面や建築費用も抑えながら小規模にし、複合化して安くしようとするの

	<p>が今回の駅前の複合施設のコンセプトである。</p> <p>借金6億円削減の目標についても、5年間のスパンで30億円減らすイメージで適正規模に落ち着かせたいと考えている。</p>
〇〇委員	<p>職員数に会計年度任用職員等が入っていないとすれば、正職員を減らして会計年度任用職員を増やしていたら、全体的な省力化にならないのではないか。</p>
市事務局	<p>会計年度任用職員は、清掃員や調理員など福祉施設に従事する業務が多く、数値目標として計上は難しい。ただ、施設業務そのものを民間に移行できないかという切り口で考えている。</p>
〇〇委員	<p>湯沢市単体の失業率はどのくらいか。失業者が働いて生産性を上げれば歳入も増えてくると思う。労働人口の減少に伴って企業も人材確保に苦慮してきており、市内の伝統産業や飲食業でも後継者不足が目立ってきている。就職支援の一環として一定期間体験就業できて適性が図れるような仕組みがあれば、単なる求人でないマッチアップができるのではないか。</p>
市事務局	<p>湯沢市の失業率は現在5.7%であるが、市でも東京や仙台に行った若者を対象にインターシップでの職業体験は前から行っており、今は一定期間お試し就職まで拡げている。今ここに定住している人に向けて制度を広げることも手段のひとつ。また、湯沢市は就職だけでなく企業創業支援にも力を入れている。就業支援については、企業の負担をどう支援するのかの課題はあるが、担当課に情報提供はさせていただきたい。</p>
〇〇委員	<p>ふるさと支援便で繋がった学生に支援できればいい。</p>
〇〇委員	<p>一般財源総額と市債残高の表は、市債が一般財源の何倍あるのかを示したものでなくて、それぞれ単体で見べきものか。</p>
市事務局	<p>一般財源と市債残高の幅が広がってきている危機感を考えていただく意図としている。</p>
〇〇委員	<p>今後、市債残高の圧縮や一般財源の引上げを図っていくと思うが、中長期の財政見通しが既にあるのであれば、今後の予想を入れたほうが目標をイメージしやすいのではないかと思うので検討してほしい。</p>
委員長	<p>他に御意見ありませんでしょうか。</p> <p>それでは続いて基本方針4「リスクマネジメント」について、御意見や御質問を伺います。</p>
〇〇委員	<p>P33の①に豪雪も入れたほうがいい。KPIの新規に作成するマニュアル件数が分かりづらい。作成していないマニュアルが何なのか参考で載せたほうが一般の人には分かりやすい。</p>
市事務局	<p>策定済が10件あって、未策定が7件あるが、目標はそのうち5件としている。参考として明記したい。</p>

〇〇委員	今回の豪雪の自衛隊の件の対応を見て、マニュアル整備は必要と感じる。特に福祉避難所の手冊については、東日本大震災の時に一時進みかけたが元に戻ってしまった印象。福祉は普段から意識付けが必要なので早急に整備してほしいと思う。またマニュアルが整備されていても施設側に徹底していないと意味がないので、徹底を含めた目標として頑張してほしい。
〇〇委員	ICTの危機管理のインシデントについて、訓練の実施回数の記載については、年回数の記載だけで、特段カッコ書きの中の回数は不要と思う。
〇〇委員	市民の安全とリスクを確保する意味で、今回の豪雪に限らず困りごとの相談窓口が分からない方が多いので、周知や広報が必要だと感じる。
市事務局	高齢者単身世帯については、コロナの関連で職員が直接訪問し見守り支援を実施している。
〇〇委員	P37のインシデントについては突発的な災害の意味合いであるので、事象発生時と事象発生後の手順だけでなく、事象発生前の事故防止マニュアルを作成することでインシデントそのものを防止することを追加してほしい。
市事務局	インシデント対応については、事後対応だけでなく防止対策も必要だと思う。これについては、取組事項30の「情報セキュリティポリシーの見直しについて」の中で職員が的確に情報を取扱う方針の中に含まれていると考えている。
〇〇委員	職員全員で共有できるような体制整備が必要だが、体制だけでなく職員一人ひとりが分かりやすいマニュアルの作成は必要だろうと思う。
〇〇委員	普段の平常時マニュアルのほか、もし異常が起こった場合のマニュアルのような使い分けができるような2本立てになるのではないかなと思う。そこを共有しないと意味がないので、きっちり明記すべきではと思う。
委員長	他に御意見ございませんでしょうか。 それでは本日説明いただいた2項目についての審議が終わりました。委員の皆様には活発な意見をいただきながらスムーズに終わることができました。ありがとうございました。